

科目名 「 歯科衛生士概論Ⅰ 」

学年	学期	科目責任者
1	前学期	中澤 広美

学習目標 (GIO)	人びとの健康を支援していくために必要な歯科衛生業務の基礎的知識及び基礎的態度を理解し、医療人としての倫理的判断及び科学的根拠を基に歯科衛生士の社会的責務を知る。
担当教員	中澤 広美
教科書	最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』 最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』第2版
参考図書	新歯科衛生士教本『歯科衛生士概論』第2版
評価方法 (EV)	学習態度・提出物・平常試験を総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	健康を支援する医療者としての自覚・心構えを学ぶとともに、歯科衛生士としての社会的な役割を理解し意識して欲しい。またヒトとして他者への思いやりが持てるよう、また自身の気づきができるようになることを望む。授業には積極的に参加すること。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10 (月)	歯科衛生学とは	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生がライフステージにおいてどのような役割を担っているのかを知るために健康の概念を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生学の定義が述べられる。 ・歯科衛生と健康のかかわりを説明できる。 ・ライフステージに関わる歯科衛生活動を説明できる。 ・歯科衛生活動の領域を説明できる。 ・歯科医療保健に携わる人たちが述べられる。 ・チーム医療について説明ができる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを確認すること。 ・最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」第1章を読んでくること。 ・なぜ歯科衛生士を目指したのか自分の考えをまとめておくこと。 <p>【学習方略(LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 	中 澤
第2回 4/17 (月)	歯科衛生士の略史 歯科衛生士の役割	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士としての職業意識向上のために歯科衛生士の時代背景と歯科衛生士の役割について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の歯科衛生の誕生と経緯について説明できる。 ・歯科衛生士の誕生についての概要が説明できる。 ・歯科衛生業務が述べられる。 <p>【準備学習項目】 最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第2章を読んでおくこと。(60分)</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 	中 澤
第3回 4/24 (月)	歯科衛生士の 法的位置づけ	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士の法的責務を知るために歯科衛生士の法的位置づけを理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。 ・歯科衛生士の業務独占について説明できる。 ・歯科衛生士の名称独占について説明できる。 ・歯科衛生士の法的義務について説明できる。 ・歯科衛生士の専門性について概説できる。 ・歯科衛生業務に関連する法規が列挙できる。 <p>【準備学習項目】 最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第5章を読んでおくこと。(60分)</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 	中 澤

<p>第4回 5/1 (月) 第5回 5/8 (月)</p>	<p>歯科衛生活動の ための理論① 歯科衛生活動の ための理論②</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生活動における予防の概念を理解するために歯科衛生活動の科学的思考について修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・予防の概念を理解できる。 ・WHOにおける健康の定義を述べられる。 ・健康と生活を分析する科学的思想の種類が述べられ、それらの説明ができる。 ・保健行動の理論を説明できる。 ・ヒューマンニーズ理論を説明できる。 【準備学習項目】 最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第3章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略(LS)】 講義、グループワーク</p>	<p>中澤</p>
<p>第6回 5/15 (月)</p>	<p>歯科衛生士の活動 ①</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士として保健・医療・福祉のニーズを知るために歯科衛生活動領域について理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士活動の種類・業務内容の概略が説明できる。 ・歯科衛生士の社会的組織活動の領域と組織活動を説明できる。 ・保健・医療・福祉の連携について説明できる。 ・歯科衛生活動の場に関連した法律および制度について理解し、説明できる。 【準備学習項目】 最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第7章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略(LS)】 講義【授業の一般目標】 付属病院の歯科衛生士の役割を知るために、早期臨床実習を通じて必要な知識・技能・態度を修得する。</p>	<p>中澤</p>
<p>第7回 5/22 (月) 第8回 5/29 (月)</p>	<p>医療人としての心構え ① 医療人としての心構え ②</p>	<p>【授業の一般目標】 早期臨床実習①に臨むために必要な社会人としてまた医療人としてのマナーを身につける。 【行動目標(SBOs)】 ・医療人としてふさわしい身だしなみについて述べ、実施することができる。 ・医療人としてふさわしい態度について述べられ、実施することができる。 ・患者さんとのコミュニケーションの必要性を説明できる。 ・病院スタッフ間でのコミュニケーションの必要性を説明できる。 ・歯科衛生業務を実践するために必要なことが説明できる。 【準備学習項目】 患者さんが求める医療人とはどのような人なのかを考えてくること。 付属病院における臨床実習心得を理解すること。(60分) 【学習方略(LS)】 講義、グループワーク、ロールプレイ</p>	<p>中澤</p>
<p>第9回 第10回 6/1 (木)</p>	<p>早期臨床実習①</p>	<p>【授業の一般目標】 付属病院の歯科衛生士の役割を知るために、早期臨床実習を通じて必要な知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・付属歯科病院における臨床実習心得を実施できる。 ・医療人を目指す者としてふさわしいコミュニケーションがとれる。 ・各科歯科衛生士の役割が説明できる。 【準備学習項目】 第4回5回で学んだことを復習すること。 付属病院における臨床実習心得を理解すること。(60分) 【学習方略(LS)】 見学実習(3年生の付属病院実習に同行をする。) *レポート課題あり ★ 歯科診療補助論Ⅰと保健指導論Ⅰと振り返る。</p>	<p>中澤</p>
<p>第11回 6/19 (月)</p>	<p>歯科衛生士の活動 ①</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士として保健・医療・福祉のニーズを知るために歯科衛生活動領域について理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士活動の種類・業務内容の概略が説明できる。 ・歯科衛生士の社会的組織活動の領域と組織活動を説明できる。 ・保健・医療・福祉の連携について説明できる。 ・歯科衛生活動の場に関連した法律および制度について理解し、説明できる。 【準備学習項目】 最新歯科衛生士教本『歯科衛生学総論』第7章を読んでおくこと。(60分) 【学習方略(LS)】 講義</p>	<p>中澤</p>

<p>第12回 第13回 6/22 (木)</p>	<p>早期臨床実習②</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生教育の実際を知るために小学校での歯科衛生教育実習を通して必要な知識・技能・態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 ・実習生としてふさわしい身だしなみ・態度・コミュニケーションができる。 ・歯科衛生教育における歯科衛生士としての役割を説明できる。 ・対象者別の対応について説明できる。 【準備学習項目】 今まで学んできたことを復習し、なぜ歯科衛生教育が必要なのかまた学年別の児童との関わり方について考えて臨むこと。(60分) 【学習方略(LS)】 見学実習(3年生の歯科衛生教育実習に同行。) *レポート課題あり</p>	<p>中澤</p>
<p>第14回 7/10 (月)</p>	<p>歯科衛生士と健康の概念</p>	<p>【授業の一般目標】 人びとの健康支援を実施するために必要な歯科衛生業務の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 ・生活行動と保健行動について説明できる。 ・QOLについて説明ができる。 ・口腔保健におけるQOLの向上について説明ができる。 ・ADLについて説明できる。 ・患者の行動特性について述べられる。 ・歯科衛生士としてどのように患者対応したらよいか説明できる。 ・人びとを第一に考えた健康づくりを支援する理由を説明できる。 【準備学習項目】 最新歯科衛生士教本『歯科医療倫理』付章を読んでおくこと。 今まで学んできたことを復習しておくこと。(60分) 【学習方略(LS)】 講義、グループワーク</p>	<p>中澤</p>
<p>第15回 7/24 (月)</p>	<p>平常試験 および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科衛生士概論 I で修得した知識確認のため客観的試験を実施する。 【行動目標(SBOs)】 ・歯科衛生士概論 I で学んだ基礎知識および基礎態度を理解し記述できる。 ・歯科衛生士としての社会責務が記述できる。 【準備学習項目】 歯科衛生士概論 I を復習して臨むこと。 【学習方略(LS)】 客観試験および解説講義</p>	<p>中澤</p>